



いきいき慈恵



第三病院だより

Vol.6 平成23年6月

財団法人 日本医療機能評価機構 認定病院

ご挨拶

院長 坂井 春男

『私たちは健康であらねばなりません』



3月11日金曜日午後2時46分に発生した東日本大震災では実に2万5000名を超える死者行方不明者が出てしまいました。その後も心身の健康被害が広く蔓延した状態が継続しています。慈恵医大スタッフはチームを組んで交代で被災地に入り医療活動を行っております。私どもは医療の果たすべき役割の大きさそして責任の重大さを改めて再認識しているところであります。

今回、人の命が如何にはかなく脆くそして尊いものであることを誰もが体感いたしました。全ての人の生には限りがあります。だからこそ互いに補完しあいながら出来る限りの健康をそして穏やかな日々を楽しみましょうではありませんか。医師・看護師・病院スタッフはそのお手伝いをすることが出来ます。しかし主役は皆様です。

この「いきいき慈恵第三病院だより」は平成15年に私が医療連携の担当をしている際に、活字と写真で地域の皆様に医療を身近に理解していただく、医療の守備範囲もよく知っていただくという趣旨で医療PR紙として発刊したものであります。

第三病院は「大学病院として最新の医療を地域の皆様に提供すること」「自然豊かな病院環境を生かして療養しながらも季節の移り変わりを感じてもらえる病院にしよう」とずっと考えています。

医療の知識と技術は限りなく柔軟・多様で、不確実性を伴いますが日々成長と拡大をしています。第三病院では医療を必要とされる皆様に出来るだけ多く且つお一人お一人の訴えに即した医療の提供が出来ますよう努力しております。

地域全体にいつも穏やかで健康的な笑顔が溢れる環境造りにお役に立ちたいと願っています。

「ともに歩む慈恵第三病院」というフレーズが広がることを願っております。

東京慈恵会医科大学建学の精神
**「病気を診ずして、
病人を診よ」**

私達は病気の治療のみではなく、病者の不安や悩みなどを取り除き、つねに患者さんのための真の医療を考えております。また、病者の痛みを共感することができる「医の心」を持つ医師と「看護の心」を持つ看護師の養成を目指しております。

病院の理念

「病気を診ずして病人を診よ」の教えに基づき、質の高い医療を実践し、医療人を育成することにより、社会に貢献し、患者さんや家族から信頼される病院をめざす。

病院の基本方針

1. 患者さんや家族が満足する良質な医療を実践する。
2. 先進医療の開発・導入など、日々、医療水準の向上に努める。
3. 優れた技能を身につけ、豊かな人間性と倫理観を兼ね備えた医療人を育成する。
4. 地域社会と連携し、きめ細かな医療サービスを提供する。
5. 全職員が誇りをもって働ける職場づくりを実践する。

小児科紹介

当院小児科では最善の医療をご提供できるようスタッフ一同心がけております。

「最善の医療」とは何でしょうか？「最善の医療」とは第一に、日本や世界の標準的な治療をご提供することだと思います。そして第二に、世界の最先端医療も意識した診療内容が重要だと思います。そのために、私たちは研鑽を怠らないよう勉強会を実施しています。



スタッフです。

当科における診療は、発熱性疾患、けいれん疾患、アレルギー疾患そして心のケアを中心に進められております。私（部長）自身はアレルギーが専門ですが、あらゆるアレルギー疾患に関し世界トップレベルの診療をご提供いたします。

全ての患者さんをご家族に、温かく思いやりのある心で接してまいりたいと思います。



「急性呼吸窮迫症候群」という重症な呼吸器疾患症例を、先端機器を駆使して救命できました。

1) 外来診療

一般外来は紹介患者さんを中心に診療を行っていますが、初めての受診患者さんも随時お受けしております。また心理的な諸問題に対応するため、専任のスタッフがカウンセリングに当たっております。

専門外来は午後を中心に、アレルギー、内分泌・代謝、血液、循環器、神経、腎臓、乳児健診を開設し、専門スタッフが診療に当たっています。また最先端機器を用いたアレルギー検査も定期的に実施しています。



喘息児の「気道炎症」を測定する機械です。

2) 入院診療

入院診療は、チーム制で当たっております。発熱性疾患、意識障害・けいれん疾患、アレルギー疾患、呼吸器疾患が中心ですが、食物アレルギー負荷テストも実施いたしております。2010年度中には、経口免疫治療（3～5歳の牛乳アレルギー）臨床研究も4月より実施予定でおります。



食物（タマゴ）負荷テストです。

3月8日に結核病棟が リニューアルオープンいたしました!!

結核病棟は結核（多くは肺結核）の治療のための病棟です。結核菌は咳（せき）とともに痰（たん）のしぶきが飛沫核といって極々小さな粒子になって空気中を長時間漂い、他人へ感染を起こすことが問題になります。このため、結核病棟では独立した





陰圧空調を完備し、他の区域に結核菌が漏れ出さないよう、また、排気口にも特殊なフィルターを使用する必要があります。当院の結核病棟は、病棟内の独立空調換気設備の設置、個室の増設、入院生活の質の改善などを目的とした施設の全面改築工事のため一時閉鎖をしておりましたが、このたび竣工

に至り、2011年3月リニューアルして再稼働いたしました。

長期になりがちな入院生活をより安全に、より快適に過ごしていただけるための準備が整ったと考えております。



当院での医療安全の取り組みについて

医療安全推進週間の実施

期 間：平成22年11月1日（月）～11月13日（土）

目 的：安全で安心な医療を実践し、更に質の高い医療を提供できるよう、自らの安全確認状況を振り返る機会とし、医療の安全推進活動を前向きに進めることを目的としています。

活動内容

①『みどりのリボン』の着用

医療安全推進活動のシンボルである「みどりのリボン」を教職員・学生等の病院勤務者全員が着用しました。

②セーフティマネジメントシンポジウムの開催

附属4病院合同のセーフティマネジメントシンポジウムを開催し、「医療安全のためのチームワーク改善法」「医療におけるヒューマンエラーとその対策」を学びました。

③災害対策訓練の実施

附属4病院合同で、千葉県柏地区を震源とする「震度6弱」の地震発生を想定し、附属病院間での情報共有や支援体制を整えるなど災害対策マニュアルに沿って訓練を行ないました。

④5S活動の推進

医療安全推進を目的とした各部署での5S（整理・整頓・清潔・清掃・しつけ）活動をパネル展示し、優秀な部署の取り組みを院内掲示しました。また、推進チームで全部署の5Sの現状を確認し、各部署に改善点を申し入れました。

⑤教職員アンケート実施

病院勤務者863名に対し、「安全文化システム構築のためのアンケート」を実施し、医療安全に関する意識調査を行なっています。

⑥患者－医療者間パートナーシップ強化

ホスピタルフェア（11/7開催）で患者さんと医療者間の良好な関係構築を目的として、「患者さんの意見を伺う会」を行ないました。

当院では医療安全を推進するため、上記のような取り組みを行なっています。

『みどりのリボン』に 託す気持ち



慈恵医大附属4病院では、11月1日から13日まで医療安全推進週間を実施します。

この期間中、教職員、学生、委託職員が医療安全推進のシンボル『みどりのリボン』を着用し、全員が一丸となって医療安全の推進活動に取り組めます。

身近に起こった医療問題を教訓として、医療の安全の推進と質の高い医療を提供する気持ちを示します。



栄養部では「食を通じて『癒し』の提供」を推進しています。これまでには、敷地内で収穫した梅をゼリーに、夏みかんをジャムやケーキに、銀杏を素揚げにして入院中の患者さんに提供してきました。また一昨年よりその取り組みの一環として給食に地場野菜を取り入れています。流通の発達した現在、お店に行けば1年中ほとんどの野菜が手に入りますが、やはり私たちの生活しているこの土地で、元気に育った旬の野菜を食べるということは安心であり美味しくもあり、もちろん栄養も満点です。

現在までにほうれん草、小松菜、かぶ、なす、大根、ブロッコリーなどを実施しました。また、地場野菜

を使用した献立にはメッセージカードを添付しており患者さんに喜ばれております。

今後も地域に根差した医療を実践するため、地域の特色を取り入れた中での病院給食を目指し栄養部一丸となって努力して参ります。



新・放射線治療システム“プライマス・ミッドエナジー”

今回導入されたリニアック装置は、標準的な治療が高精度に行える世界標準といえる治療装置です。

担当する医師は、ベテランの放射線治療専門医で、各科の医師と協力しながら最適な治療を進めていきます。

日々の照射は、放射線治療品質管理士、専門技師が担当し、安心して高精度な放射線治療の提供に努めております。

また常時、担当看護師が、患者さんのお世話をさせていただいておりますのでご相談ください。

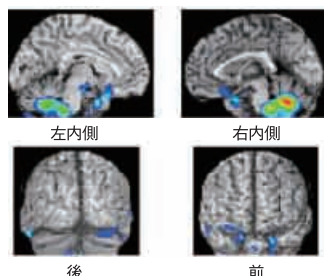


リニアック装置

MRI (核磁気共鳴画像法 magnetic resonance imaging)

1) VSRAD (ブイエスラド: 早期アルツハイマー診断支援システム)

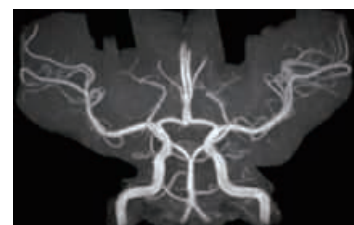
VSRADとは海馬傍回付近の委縮の形態画像情報を解析し、診断支援情報に変換するシステムで、5分程度の頭部MRI検査結果から、早期アルツハイマー型認知症診断の支援情報を提供することが可能です。



VSRADの結果例:
萎縮がある部分が色で表示されます。

2) 脳ドック (MRI)

造影剤を使用することなくMRIを使用して、脳や脳血管に異常がないか診断します。無症候性脳梗塞、脳動脈瘤、脳腫瘍、病的脳委縮などを発見することができます。



早期乳がん発見へ

当院では、ピクセルサイズ 50μm の最新デジタルマンモグラフィ装置を導入し、従来よりもX線被ばくの少ない、より高品質な検査が可能になり、多くの乳がん早期発見を可能にしました。「おや?ちょっと変かな?」と思ったら、乳腺外来の受診をお勧めします。

また、定期健診である「乳がん検診」も当院では随時対応しております。

